

平成 27 年度 第 1 回豊橋市男女共同参画審議会 議事録

日 時	平成 27 年 11 月 24 日 (火) 午後 1 時 30 分～3 時 9 分
場 所	豊橋市役所 西館 4 階 コミュニティルーム
出席者	別紙のとおり
欠席者	なし
傍聴者	なし

(進行：荒木会長)

1 開会

会 長 本日は半数以上の委員が出席しているので、会議は成立している。今回の議事録の署名については、戸崎委員と星野委員にお願いしたい。

2 議題

(1) 平成 26 年度事業実施報告について

※資料に基づき事務局が説明

委 員 平成 26 年度は企業向け出前講座のを実施しなかったようだが、これはなぜか。

事務局 実施に向けて市内事業所に働きかけていたが、申し込みがなかったためである。交渉するにしても、企業の担当者と直接会うなどして、顔が見える関係を作らないと実施は難しいのでは、と感じている。

委 員 高校生、中学生、小学生向けの出前講座はどうなっているか。

事務局 高校に出前講座の実施を打診しているが、生徒が集まる時間の確保が難しいようで、昨年度は高校 2 校でDV 予防の出前講座を実施するにとどまっている。小学生向けの出前講座は、教育委員会が実施希望の取りまとめを行っているので、要望があれば積極的に出向いている。中学生向けには標語・川柳の募集を行っており、今のところ出前講座のプログラムはないが、今後検討していきたい。

委 員 昨年度に実施した男女共同参画推進セミナーのアンケートを見ると、受講者のうち数人が満足度について「不満」と回答している回がある。他のセミナーではあまり見られないが、このことについてどのような理由が考えられるか。

事務局 正確なことはわからないが、受講者が思っていた内容と実際の内容が異なっていたことが主な理由ではないかと考えている。

委 員 男女共同参画推進をテーマの中心に据えたセミナーということで難しいかもしれないが、受講者がしっかり内容を吸収できるようなセミナーの実施を心掛けていただきたい。

委 員 昨年度実施した市民意識調査の結果を学生に見せ、説明したところ、興味を持っている学生が多く、さまざまな意見が寄せられたことから、男女共同参画という言葉自体は深く浸透していることを実感した。

委員 学生や新社会人を見ていると、女性のほうが優秀な人材が多いのではないかと感じる。ただ、結婚や出産を機に一線を退く女性が未だに多い。仕事で活躍の場が与えられても、ライフサイクルの中で大きなイベントに直面したとき、個人がどのように道を切り拓いていくかが試されている、そういう時代だと感じている。

委員 女性の就労と子育てという観点では、三世代同居や地域の密接な手助けによって、安心して働ける環境づくりが必要だと考える。そういう意味では、高齢者の育児意識を醸成する講座の実施等が有効ではないかと思う。

委員 昨年度に実施された企業向けセミナーでは、受講対象として企業の経営者が挙げられていたことから、受講を躊躇した中小企業関係者が多く、結果として受講者が少なくなってしまったのではないかと思う。対象者を記載する場合は注意していただきたい。

事務局 企業に女性活躍推進を啓発する場合、経営層や人事担当者を対象とすることがもっとも効果的だと考えて設定したが、委員がおっしゃるとおり逆効果だった可能性もある。今後は十分に注意して受講対象を設定していく。

(2) 女性活躍推進法について

※資料に基づき事務局が説明

委員 今回成立した女性活躍推進法に基づいて、市としてはどのような取り組みを行っていくのか。

事務局 具体的な施策についてはまだ決まっていないが、法の中で地方公共団体は女性活躍に関する推進計画を策定することが努力義務とされている。これを踏まえて各種取り組みをこれまで以上に充実させるとともに、次期計画の中に盛り込んでいく。

委員 先日、厚生労働省の調査で非正規労働者の割合が4割を超えたというニュースがあったが、特に働く女性の割合が非常に気になった。豊橋市で働く女性がどのような状況に置かれているのか、次期計画のためのアンケート調査を行う際にはぜひ取り上げていただきたい。

委員 この法律に関して企業が行動計画を策定した場合、県に届け出る必要があるとのこと。であるならば、県の動向を見極めた上で、次期計画の方向性を検討していくべきだと考える。

事務局 豊橋市の次期計画の策定期間については、国および県の計画策定後になる予定である。必然的に女性活躍推進に関する項目が盛り込まれることになるかと予想されるが、内容を注視しつつ次期計画の策定に取り組みたい。

3 その他

委員 女性相談の実績について、面接相談の件数が年々減少しているが、その理由を知りたい。

事務局 確たる原因はわからないが、DV相談窓口を設置したことにより減少したわけではないと考えている。

委員 件数が減少している理由としては、他の相談機関が充実してきていること、相談者と相談員の相性が合わないことなどが挙げられると考える。また、相談者が相談に頼らずとも自力で問題解決できるようになってきている可能性もあるので、件数が減っていることが一概に悪いとは言えないと思う。

会長 それでは、事務局は委員の皆さんのご意見などを今後の参考にさせていただきたい。

閉会

平成27年12月11日

議事録署名者

戸崎 史子

星野 里依

第1回豊橋市男女共同参画審議会 出席者名簿

No	氏名	選任区分
1	あらき ひとこ 荒木 仁子	豊橋商工会議所女性会元会長
2	あんどう はるき 安藤 春樹	公募
3	いとう ともゆき 伊藤 友之	豊橋農業協同組合常務
4	きのした たかお 木之下 隆夫	愛知大学文学部教授
5	すずき しゅうじ 鈴木 脩二	豊橋人権擁護委員
6	すずき まりこ 鈴木 真理子	豊橋女性団体連絡会元副会長
7	とさき ふみこ 戸崎 史子	公募
8	ほしの りえ 星野 里依	豊橋市小中学校 PTA 連絡協議会元会計

<事務局>

市民協働推進課 課長 河合 幸子
 課長補佐 小久保 雅司
 主査 夏目 直美
 主事 青木 保憲
 事務員 姜 上